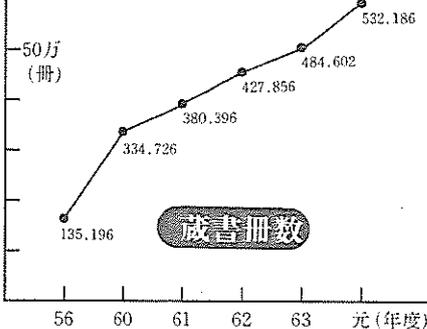


平成元年度 利用統計

平成元年度、市立図書館では、のべ273、736人により973、182冊の資料が貸出されました。蔵書は、47、584冊が新たに受入れされ、(内、3、808冊は市民のみなさんからの寄贈本です。)532、186冊となりました。



予約

こんな統計もあります！
 ▼予約 7,496件
 予約件数の貸出冊数に占める割合は、約1%とわずかです。利用者のみなさんにとっては、読みたい本を手にするための積極的手段なので、どしどしご利用ください。

種別	件数
児童書	2,183
一般書	5,039
郷土資料	3
雑誌	271
計	7,496

積極的手段相互貸借 805件

当館が、他の図書館から貸出を受けて、資料をみなさんのお手元に届けるサービスです。当館に資料がないときは、相互貸借制度を利用して下さい。

有料の文献複写サービス

電子コピー(枚20円)36、326枚

調査相談

調査方法	書類事項	所在調査	文献紹介	簡易実用	利用案内	その他	合計
口頭	13	108	143	146	267	9	686
電話	43	851	60	147	33	25	1,159
文書	0	4	1	0	0	2	7
計	56	963	204	293	300	36	1,852

▼調査相談 1,852件
 日常のくらしや、仕事の上でこの疑問や問題など幅広い質問を受け付け、図書館の資料を使って解決の手伝いをするサービスです。

マイクロコピー(枚30円)2,668枚

文献複写サービスは、著作権上の制約はありますが、資料の必要な一部分を所有することができま

貸出冊数統計

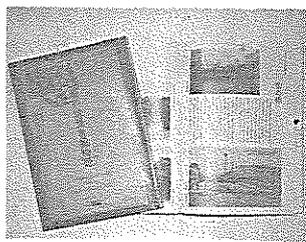
	個人貸出				計	団体 巡回文庫	総計
	館内	館外	中公	民館			
貸出冊数	672,451	123,441	38,397	93,993	928,282	44,900	973,182
貸出人数	202,205	28,918	11,482	31,131	273,736	78団体 25か所	

お話し会

144回 2,622人の参加
 読み聞かせボランティアの手により、毎週火・木・土に児童図書室のお話しコーナーでおこなわれ、楽しみながら、本に親しむきっかけとなります。小さい子どもたちに、さらに参加してほしいものです。
 このように、いろいろな図書館活動の統計をとり、よりよい運営のための参考にしています。
 資料の貸借からもう一歩進んだ図書館利用をしてみませんか？

ふるさとの本を紹介

郷土資料コーナー ③



「うつのみや絵葉書風物詩 石井敏夫絵葉書コレクションより」
 編集上房随想舎編・刊、一九八八年、二、〇〇〇円。
 この本には、明治時代から昭和初期にかけての宇都宮の絵葉書、約二百点がおさめられています。宇都宮市在住の石井敏夫氏が、昭和三十年ごろから続けている絵葉書の収集で集まった二万枚近くのコレクションの中から、特に宇都宮に関するものをまとめて解説をつけた一冊で、市街地や観光地の絵葉書をはじめ、各種の記念絵葉書などはいっぺいあります。
 絵葉書は、「栃木県庁」や「荒山神社」「宇都宮駅」などの項目に分類され、時代ごとに並べられているので、市内各地それぞれの風景や風俗の移り変わりがよくわかります。露店のたち並ぶ馬場町のにぎわいや、人力車の行き交う宇都宮駅前の様子など、古き良き時代の宇都宮の雰囲気を感じることが出来ます。昔から宇都宮に住んでいる人ならごなたにも、見覚えのある風景が一枚、二枚見つかるでしょう。
 「宇都宮第十四師団司令部」など今では見られない建物や、石の里大谷の露天掘りの光景などもおさめられています。
 また、現在の写真も掲載されているので、今と昔の違いを比較してみられるのもおもしろいでしょう。子どもたちにもその当時の生活の様子を話してあげる機会もつくれると思います。

石井氏は、学生時代に古本屋で見つけた「宇都宮繁昌記」の中の写真や地図に強い興味をもち、その中でも絵葉書の素材さにひかれて収集をはじめたといいます。発行当時は大量に印刷され、ごくあたりまえの風景写真にすぎない絵葉書も、こうして年代を経るにつれて、貴重な、資料的にも価値の高いものになっていくのです。たった一枚の絵葉書ですが、その絵葉書が持つ社会的な意味の大きさを、あらためて認識させられました。

貸出券 その一枚のはたし

貸出券はこんなとき使います。

借りる

本を借りるときには、貸出券が必要で、忘れると借りられませんかので注意してください。

予約をする

借りたい本がなかったときには予約カードに記入します。そのとき、貸出券の番号も記入します。

調べる

今、何を借りているか知りたいとき、貸出券を出してください。

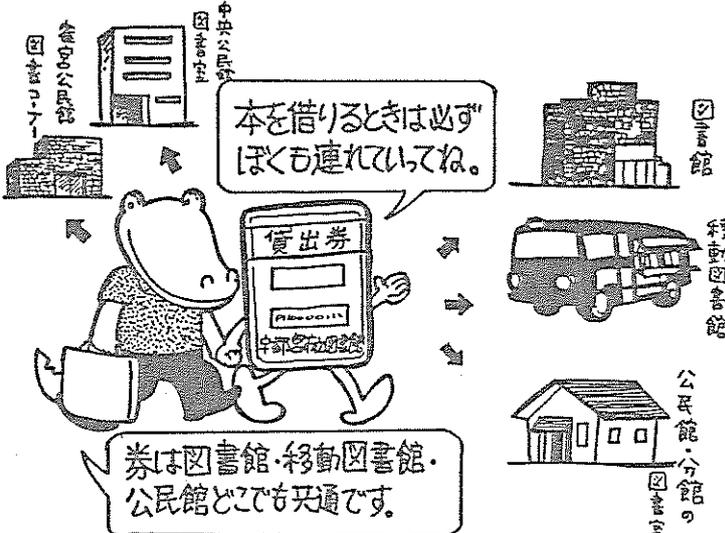
では、貸出券をどのように使用するか、具体的に説明しましょう。

誰が使えるの？

宇都宮市内に住んでいる人なら誰でも作ることができます。また市外に住んでいても、市内に通勤、通学している人なら作ることができます。

どこで使えるの？

図書館の他にも、移動図書館・中央公民館・図書コーナー・雀宮公民館図書室・巡回文庫で借りることができます。いずれも同じ貸



出券を使用します。

いくつ借りられるの？

本が5冊まで、レコード・CD・カセットが5点まで、合わせて10点まで借りることができます。

もし、なくしてしまったら……

貸出券を紛失したことに気付いたら、すぐに図書館まで連絡してください。悪用されないように、処理をします。再発行までには、届け出から3日かかります。

古い券が出てきたら……

再発行をしたあとに前の貸出券が出てきたら、すてないで、図書館まで持ってきてください。

引越をしたら……

住所や電話番号等が変わったときには、すぐに図書館まで知らせてください。

もう使わないのだけ……

市外への転出などで図書館を利用しなくなったときには、図書館へ貸出券を返してください。

貸出券は一人一枚です。なくしたりしないで大切に使います。

第六回うつのみやこども賞記念講演会開催

5月13日(日)、第6回うつのみやこども賞記念講演会を開催しました。講師には、『児童館の黒キリン事件』の著者、新庄節美氏をお迎えしました。



講演に先立ち、受賞式が行われました。式では、選定委員の子どもたちから新庄氏への表彰状授与主催者から選定委員への感謝状贈呈が行われました。



ではないだろうかと思ったのが、物語りを書く動機となった。その作品が、子どもたち自身によって選ばれたことは非常にうれしい。と語られました。また講演という枠をとり払い、子ども達と一緒に物語りを作り上げることを試みしました。

題名は『サライダス島のドラゴンアップル事件』受賞作でも活躍した夏休みだけ探偵団の4人に、選定委員の子どもたちが扮し、こんな時自分だったらどうする？と考えながら話を進めていきました。初めはとまどっていた子どもたちも徐々にお話しの世界に引き込まれ、自分の推理を発言したり新庄氏に質問したりして、活発に参加しました。

年頃の主人公が事件を解決していくことで、物語りの中に自分を投影できる、というところが推薦の理由の一つとなっているようです。講演会の中で新庄氏は、自分の子どもに話を聞かせているうちに

もつとおもしろいものが書けるの最後は、子どもの本を書けるのから、自分子どもの心を持っていくから、とおっしゃっていました。次回作は、夏休みだけ探偵団のシリーズ3作目となりますが、子ども達の心をのびさせる楽しい作品を期待しています。

